

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 942 号	氏名	高木 利一
学位審査委員	主 査 由井 克之 副 査 森田 公一 副 査 西田 教行		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、日本で単離された 2 株を含む 3 株のリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス (LCMV) の病原性の差異と、その分子基盤を解明することを目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ウイルス量の定量法を確立し、3 系統のマウスについて、感染病態及び各臓器のウイルス量を解析した上で、ウイルスの有する抗原エピトープとの関連も調べており、妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、LCMV に対する感染抵抗性は異なる系統のマウス間で違いが大きいこと、この違いには T 細胞エピトープ以外の要因があることを示した。感染免疫に関する動物実験の貴重な材料と情報を提供し、研究のさらなる進展が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は感染実験動物学の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			